

4月7日にニューヨークで開かれた

「ウクライナ情勢に関する国連総会第11回緊急特別会合」でのベネズエラとキューバの発言です。

ベネズエラ国連常駐代表 サムエル・モンカダ大使の発言

ベネズエラ・ボリバル共和国国連常駐代表 サムエル・モンカダ大使の発言

決議案 A/ES-11/L.4 に関する投票前の立場説明

"人権理事会におけるロシア連邦の加盟権利の停止".

第10回全体会合の枠組みで発言された。

"ウクライナ情勢に関する国連総会第11回緊急特別会合".

ニューヨーク、2022年4月7日

議長殿

ベネズエラ・ボリバル共和国は、国際連合の創設メンバーとして、国際連合の憲章に掲げられた目的及び原則並びに国際法の規範を遵守します。

人権は主権国家を攻撃するための道具ではない

私たちは、人権の促進と擁護は、公平性、客観性、透明性、非選択性、非政治化、非対立の原則に従い、対話と協力を基礎として、公正かつ建設的に議論されるべきであると考えます。人権は主権国家を攻撃するための道具とされてはなりません。そのような議論は、人権の普遍的体系の本質を損ないますし、この体系は普遍性を保障し、これらの権利を、差別や区別なく、すべての人が享受することを保障しているからです。

国連加盟国間の緊張をエスカレートさせてはならない

1カ月前、この総会で私たちは、対話と政治交渉を通じて紛争の平和的解決を促進する上で、国際連合が中心的な役割を果たす必要性を主張しました。今日、私たちは国連加盟国間の緊張をエスカレートさせ、分裂を深める道を選んだことを遺憾に思っています。これは間違った道です。

戦争は最も脆弱な人々の生活を苦しめる

私たちは、東欧地域の現在の状況が長期化し、克服するのに何世代もかかるような結果を生む危険性が、現実的かつ明白であることを世界に警告しているのです。私たちは、世界中に波及する影響、特に各国の最も脆弱な人々の生活状況に警告を發します。現在、数億人の人々が、食料、電力、輸送コストの上昇や、国際的なサプライチェーンの断絶による必要物資の不足という結果に悩まされています。また、新たな軍拡競争が始まり、開発や貧困との戦いに使われるべき資源が戦争に流出する恐れがあることも警告します。この状況は、ひどいものですが、世界はさらに大きな危険に直面しています。

人類滅亡の危機に立ち向かうべき

私たちは、両陣営の衝突を促す勢力を警戒しながら、決定的な一極集中の勝利という誤った幻想と、核保有国間の世界的な紛争を誘発し、今日の人類を滅ぼすであろう衝突の危険性を目にしています。緊張を緩和し、紛争の調整とその平和的解決のためのあらゆる選択肢を強化することが私たちの義務です。

議長殿

残念ながら、本日提出された決議案は、国家の計画と地政学的利益を促進するために人権が政治化された例です。この草案は、東欧地域の危機を解決するために必要不可欠な存在であるロシア連邦を人権体系から追放しようとするものです。ロシア抜きでヨーロッパの平和解決はありません。

ロシア抜きの平和はイデオロギー的な幻想

ロシア抜きの平和はイデオロギー的な幻想であり、一極支配の決定的な勝利を達成する時が来たと信じる人々の幻覚です。それは国際平和に反する思想です。もしこの決議が採択されれば、現在当事者間で行われている交渉に影響を与え、意図的に紛争のより深刻な局面、より長く、より解決が困難な局面に我々を追い込むことになるでしょう。

人権の考えを政治的に弄ぶべきではない

また、この決議が承認されれば、人権理事会という世界で最も人権を守るために作られた機関が歴史的に破壊されることとなります。人権理事会など、世界各地

で開催される 既存のバランスが崩れれば、その信頼性、機能、任務も影響を受けることとなります。そうなれば、地域的、世界的な危機を管理し、真の平和の道具として機能する普遍的な組織である国際連合に影響を及ぼすこととなります。

議長殿

上記のすべての理由により、ベネズエラ・ボリバル共和国は、ロシア連邦を人権理事会の選出理事国として資格を停止しようとする試みを断固として拒否し、国際社会の責任ある国々に対し、文書 A/ES-11/L.4 に含まれる決議案に反対票を投じるよう求めるものです。

ありがとうございました。

キューバ国連常駐代表ペドロルイス・ペドロソ大使の発言

人権理事会メンバーとしてのロシア連邦の権利停止に関する決議案に関する投票に際しての立場表明における、キューバ国連常駐代表ペドロ・ルイス・ペドロソ・クエスタ大使の発言。ニューヨーク、2022年4月7日

議長殿

キューバは、いかなる国も免れることのできないこの分野において、国際社会が直面する複雑な課題に人権理事会が対処することができるように、人権理事会を常に擁護し、活動してきました。

私たちは、この機関の作業における客観性、公平性、透明性を擁護しますし、またその手続きと仕組みが真実かつ検証された情報に基づいて機能するよう求めるものです。

理事会の理事国の資格停止条項の使用は、ウクライナの紛争の平和的な、交渉による、持続的な解決策を模索することを何らかの形で役立つものでなければなりません。ましてや、人権の問題に取り組む際に優先されるべき協力、対話、理解の環境を促進するものでなければなりません。

さらに、人権理事会の定例会期終了をわずか数日後に控える時点で、同理事会においてこの問題について発言する機会さえ与えられていないことは、尊重が欠けることです。

議長殿

人権を政治利用することの危険性

キューバは、人権委員会の後継となる新理事会の設立交渉の当初から、**人権問題の二重基準、恣意的選択性、政治化を好む特定の国々によって利用される深刻な危険性**から、理事国の資格停止条項に反対しました。

この条項は、出席した投票国の3分の2以上の賛成があれば発動できます。したがって、棄権は計算されず、停止が承認されるために必要な最低投票数さえ規定されていません。

人権理事会の理事国に選出されるには、無記名投票で国連加盟国の過半数の支持、すなわち97票以上を獲得する必要があります。

したがって、ある理事国の権利は、その理事国を選出しその権利を与えることを決定した国よりもさらに少数の国の意思によって停止される可能性があるのです。

2020年に158票を獲得して人権理事会メンバーに選出されたロシア連邦は、今日、より低い数字で停止されうるのであります。

制裁手段として恣意的に運用されてはならない

他の国連機関にはないこの停止の仕組みは、容易に恣意的に使用することができます。**今日はロシアですが、明日は私たちのどの国も、特に支配の利益に屈せず、自主的な立場を堅く守る南の国々も、その対象となりうる**でしょう。

新しい人権理事会の設立が交渉されていたとき、資格停止条項を最も熱心に推進する国々が、**自分たちの想定する民主主義のモデルに適合しない南の国々を非難する一方で、これらの先進国が、西側諸国の明白な人権侵害に直面して協同して沈黙する**傾向があることが証明されているのは偶然ではありません。

もちろん、この場にいる全員が資格停止の仕組みに対するわれわれの懸念を共有

しているわけではありません。なぜなら、その恣意的な使用の犠牲者は常に他の国々であることを知っているからです。

あなた方は米国の人権侵害を告発できるだろうか

(いま開かれている) この会議は、一例を挙げると、米国の人権理事国の資格を停止する決議を承認できるでしょうか。

米国の地政学的な利益を追求するために、いろいろな主権国家に対する侵略と略奪戦争の結果として、明白で大規模な人権侵害が行われているにもかかわらず、米国の資格停止が起きていないし、これからも起きないことを、私たち全員知っています。

米国は、彼らが「巻き添え被害」と呼ぶ何十万人もの民間人の死、何百万人もの避難民、そして地球の地形全域にわたる広大な破壊を引き起こしましたが、この総会は米国の権利を一度も停止したことはありません。

キューバは米国から人権侵害を受け続けてきた

また、私たちは全員、60 年以上にわたってキューバに対して犯罪的な経済・通商・金融封鎖を科してきた国に対して資格停止条項が適用されないであろうことを知っています。それは間違いなく、国民全体の人権に対する最も長期的かつ明白で大規模かつ系統的な侵害であり、一国に対する真のジェノサイドなのです。

人権理事会の設立に反対し、まさにこの会議場で、その設立決議に対する反対票を要求した国が、2011 年のように、そのフォーラムの最も議論を呼んだ条項の一つを自らの都合で発動させていることは、控えめに言っても皮肉なことです。

議長殿

キューバの態度は、2006 年に人権理事会設立決議 60/251 が採択された際、理事国資格停止の仕組みに関して行った留保と、2011 年のリビアの権利停止に関する決議 65/265 を採択される時に取った態度と同じものです。

今日検討されている決議案が採択されれば、それは、特に南の国々にとってさらなる危険な前例となるでしょう。

国別の決議や恣意的な指令を科すだけでは、米国にとって不十分なのです。そしていま、彼らは恣意的な選択を正当化するために新たな一歩を踏み出そうとしています。

彼らは、廃止され信用を失ったかつての人権委員会のように、人権理事会をますます特定の国に奉仕するシステムに仕立て上げようとしているのです。

以上の理由により、キューバ代表団は、決議案 A/ES-11/L.4 に反対票を投じません。

ありがとうございました。

(Cubaminrex-キューバ国連常駐代表部)